

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	・入居者の認知症状の進行に伴い、おひとりおひとりへのより深い関わりや認知症ケアについて専門的な知識が必要となっている。	・認知症ケアへの意欲を高めるとともに入居者おひとりおひとりへの関わりを深める。	・入居者との関わりや他の職員の対応において「心動かされた」体験をユニットミーティングで発表する場を作ることで、職員同士が刺激し合い、自らを振り返る機会を持つ。	12ヶ月
2	49	・入居者によってはADLの低下に伴い外出が困難となり、外出頻度に差が生まれている。	・入居者おひとりおひとりの状態に合わせたかたちと頻度で定期的な外出の機会を設ける。	・外出スケジュール表を作成し、積極的に数人ずつでも外にお連れし、定期的に外気に触れて頂く。	12ヶ月
3	48 ・ 55	・グループホームは生活施設として入居者に自ら生活の場面に関わってもらう工夫が必要ではあるが職員が日常業務として行っている事もあり、その機会の提供を見直す必要がある。	・日常生活業務の中に入居者を引き込み自ら生活を楽しむ機会を提供する。	・既成の枠に捉われず入居者が生活の場面で活躍できる場の設定をし、主体的な生活が送れるように生活作りをして行く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。